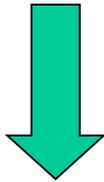
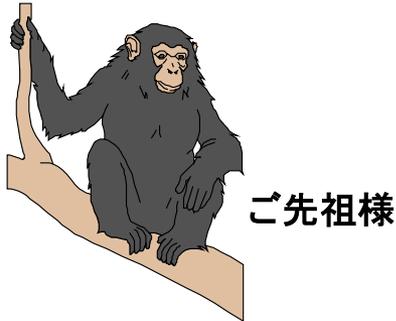
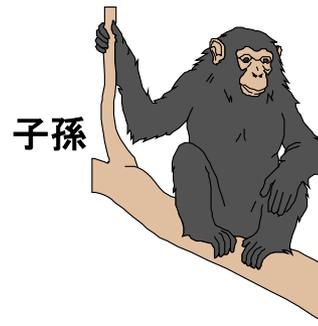
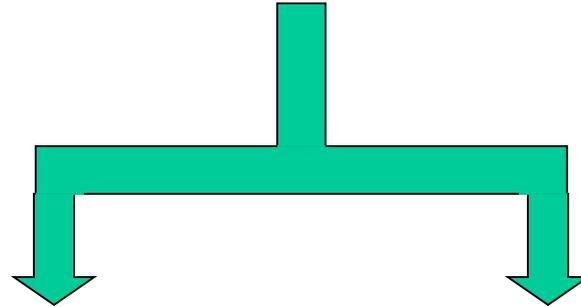


人間とサルの関係

誤った認識



正しい認識



誤った認識とは、進化は予め決まった方向に進むという見方。即ちサルは人間になるべくして方向付けられているというもの。そのような方向付けなど自然界には存在しない。つまりサルはいずれ人間になる。人間の先祖はあくまで「サル」。というのは誤り。

正しくは、人間とサルは共通の先祖を持つということ。その証拠として人間とサルは(生物学的に)非常に似ている。その共通の先祖が何者なのかは正確には分からない。ただし、化石等の記録と分類学上の考察から、サル及び人間の両方に似ているものであることが推察される。